



公益社団法人日本山岳ガイド協会

〒160-0008 東京都新宿区三栄町 18 番地 丸藤ビル 201 号

TEL: 03-3358-9806 FAX: 03-3358-9780

e-mail: office@ifmga.com

令和 2 年 5 月 22 日

新型コロナウイルス感染症対策のための業務再開ガイドライン Vol. 4

—一部業務再開に向けての検証実験報告—

～マスク・ソーシャルディスタンスなどの実際について～

公益社団法人日本山岳ガイド協会
特別委員会コロナ対策プロジェクトチーム

5 月 15 日付「新型コロナウイルス感染症対策のための業務再開ガイドライン Vol. 2 —緊急事態宣言一部解除に際して—」でご案内しました With コロナの責任あるガイディングをスタートするためのチェックリストに沿って実際に検証実験を行いました。

その結果を以下の通りご案内します。また各種バフについて当会賛助会員各社の商品も参考として記載してあります。

皆様のガイド山行再開の一助となれば幸いです。

一部業務再開に向けての検証実験報告

～マスク・ソーシャルディスタンスなどの実際について～

報告者：福田正浩・上野真一郎

基本情報

特別委員会委員長上野が実施責任者として行う。

実施日	2020年5月17日(日)	気温	最高気温 24℃	曇りのち晴れ
行動開始時間	9:00	全ての終了時間	15:00	
実施場所	高草山(501m) 静岡県沿岸部の都市間にある里山 沢沿い林道から尾根のハイキングコースへ			
ガイド	上野 真一郎、福田 正浩(両名とも静岡山岳自然ガイド協会所属。静岡県在住ガイド)			
顧客役	3名(静岡市在住の上野友人・登山歴長い/60代女性・医療従事者および50代夫妻)			

主な検証内容

①人と人との間隔を、マスク着用でも2m以上あけることが出来るか？(歩行時、休憩時共に)

※マスクを着用しない場合、4m以上あけること

②マスク・ランニング用バフなど使用時の呼吸など歩行時にどの程度の影響がでるか？

③顧客の体調管理について、どこまで可能か

検証結果

☆対人距離の保持について

- ・集合場所が、国一沿いの道の駅のため騒音ひどく、さらにマスク着用で声が聞き取りにくかったため、声を聞こうと距離がつまりがちになった。
- ・2mの間隔を空けて歩いている間、メインガイドが何を言っているか最後尾からでは聞き取りづらかった。
- ・自然解説の際、たとえば植物に注目する際、お客様の意識と視点はその対象物にいくので、お客様同士の距離は次第に近くなっていて、2mの間隔は保たれていなかった。
- ・他の登山者(トレイルランナー等)とすれ違う際、その方がマスクをしていない場合、登山道が狭い場合4m以上の間隔は保てない。
- ・途中、集落を抜ける中、住民はマスクをしていないが、挨拶を交わす。(住民からは嫌悪感や敵視するような感じは受けなかった。通常時同様、どこへ行くの？などの会話がされる。)

☆マスク・バフなどの使用感想およびその他の影響

ランニング用バフ、布マスク(手作りマスク)、不織布マスク、バンダナ、手ぬぐいを試すこととした。

- ・息苦しさ・暑さは 不織布マスク > バフ > 布マスク > バンダナ・手ぬぐい の順であった。
- ・不織布マスクはとにかく息苦しく暑さで蒸れる。
- ・バフはマスクよりも通気性は良いが、首元まで覆われると暑い。

これからの季節は登山中の着用は難しいのでは？との声も挙がった。

※手製のマスクでクールマックスのような冷感素材を使い、紐を後頭部でコードロックを付けて固定出来るようにしたものを使った人は比較的、呼吸も楽で蒸れなかったと感想を述べていた。形状は、二等辺三角形の布地の頂点を下にして垂らした形であったため、下部が解放されていて呼吸もしやすく蒸れないとのこと。

※マスク・バフは、顔を大きく覆うことで、熱中症の原因と成り得るリスク有りと感じた。

※当然ながら傾斜がきつくなると呼吸も荒くなり覆うことで酸欠気味になる感じ。

※行動中、特に急坂で、自分の呼吸が荒くなり、声かけするのが困難になる。

※声がマスクなどでこもってしまい聞こえにくい。

☆顧客の体調管理に対して

・当日の朝の検温をお願いしてあったが、忘れていた。検温は習慣的に行っていないと無理かもしれない。

また、ここ2週間の行動での密集密閉した施設への立ち入りの確認も、実際には難しい。

仮にパチンコ、ジム、ライブハウスなど話題の施設を避けていたとしても、不要不急ではないと言うスーパーマーケットやベーカリーへの買い物が密集した施設になっているケースもある。

今後への提案・参考

・オリエンテーション、準備運動時、歩行時、休憩時など全ての行程において間隔をとるように、徹底し繰り返しの声かけを行う。自然解説時も、人が集まりがちなので、特に注意が必要。

・顧客の健康把握は、かなり手間を感じた。事前に十分な連絡が必要と思われた。

(顧客に事前に渡す簡単な健康管理のチェックリストを作成しておくが良い。)

・ポケット付きマスク (ポケットに保冷剤を入れるタイプ) も熱がこもるのは防げる。

・素材冷却型のマスクも市販である。

・通気性でいえば、バンダナ・手ぬぐいなどは有効である。ただし、ズレやすい。

・透明のフェイスカバーは試さなかったが、おそらく呼吸は楽だと思われる。日焼け防止などの市販品もある。

・一人の参加者が作成されたような下部 (首側) が解放されているマスク様のもの (下写真左と中/右端の方着用) は、通販サイトでも類似品 (下右写真) が販売されているので、そういったものを顧客にも紹介できる。

・バフは、低山の高温時期は使用が難しいが、ある程度の標高の高い山で気温が低い状態なら使用出来る。



以上

＜各種バフ…賛助会員のお勧めの製品＞



キャラバン N-rit ネックゲイター「クール」



パタゴニア サン・マスク



ミレー ネットウィーマー



マムート ネックゲーター



モンベル フィールドマスク



ホグロフス ネックゲーター



TNF ジブシーカバークットショート



Icebr eaker クールライトフレクシーシュート



モンチュラ オールアラウンドネックチューブ



OR アクティブアイスアーバーチューブ

※ただし、バフ（ネックゲイター）は製品によって口を覆う位置で固定できないものがありますので、各社へマスクの代替えとして利用出来るかご確認の上、ご購入下さい。